

こみね

2018
No. 29

納涼祭
各事業所より
連絡事項



社会福祉法人 清峰会

特別養護老人ホーム小峰苑 ケアハウスなつなし デイサービスセンター小峰苑

居宅介護支援事業所小峰苑 福島県白河市新夏梨1-2 TEL (0248)31-2222

第十九回 小峰苑納涼祭



納涼祭 協力



アドホック様 齋藤電工様 ひまわりショップ様 ピーナ様 プリズトン様 県南総美様
十文字夏梨寿会様 白河自工様 関彰商事様 蔦屋商店様 白河市赤十字奉仕団様
東北ガス様 白河市食生活改善推進協議会様 福島ミドリ安全様 古川車体工業様
ワキキヤセイモ様 佐藤建材金物センター様 白河厚生総合病院付属高等看護学院様
白河介護福祉専門学校様 国際医療看護福祉大学校様 白河旭高等学校様

出演

SHIRAKAWA JAZZ ALL STARS様
子供太鼓 宮本囃子様

(順不同)

特別養護老人ホーム小峰苑

ユニット苑外活動

いつも仲の良いお二人と、苑外活動で白河市内へ向かいました。ご家族にも参加していただき、のんびりとお茶をしながら皆さんで談笑した後は、お寿司を食べて、買い物をして帰りました。偶然の懐かしい再会もあり、思い出に残る一日となりました。



従来型苑内行事

利用者の皆さんとおはぎを作りました。食べやすい様に、大きさを調整しながら丸めてくれました。皆さん、手際よく作ってくれたおかげで美味しいおはぎができ、とても満足されていました。



かき氷

夏といえばかき氷!! 皆さんとかき氷を楽しみました。

シロップのレパートリーはイチゴ・メロン・ブルーハワイと充実。トッピングには練乳ミルクかあんこが選べ、皆さん「どれにしようかな~」「冷たくて美味しい」「涼しくなりました」と笑顔がみられ、季節を感じていただける行事となりました。



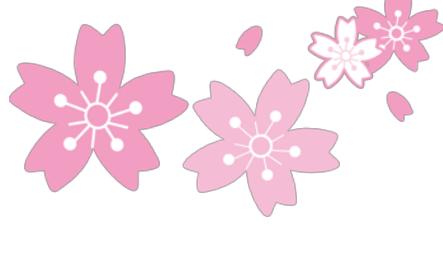
ディサービスセンター小峰苑

今年も色々なレクリエーションや季節の行事など、日々の活動風景を皆さんと共に楽しみ、笑顔でご満足して頂けるよう職員一同日々取り組んでおります。



春季運動大会

お花見



四月一日付で、さざなみ学園よりディサービスセンターへ移動してきました。

看護師としてはブランクが長く、かなり不安でしたが、スタッフの皆さんのがオローを頂きながら、少しずつ慣れて来ている所です。まだまだ至らない所が多く、ご迷惑をかける事も多いかと思いますが、ご指導を頂きながら、頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。



看護師
大野 実

ケアハウスなつなし

〈お花見〉 4・10(火)



〈森林ノ牧場〉 5・28(日)



〈紫陽花見物〉 6・20(水)



今年は初めて野菜づくりに挑戦しました。



さて出来栄えは・・・



「親の意見と
茄子の花は干に一つの
無駄もない」と言われ
ている~



七夕飾り



居宅介護支援事業所小峰苑

【田崎】



私の休日のお楽しみは、写真撮影です。腕はまだまだですが、季節の花や風景を切り取つて楽しんでいます。美しい花や風景を見るだけでも気分転換になりります。この写真はあるお宅の裏山一面に群生するクマガイソウです。



【佐藤】

釣りが大好きで、子供が生まれる前は休みのたびに海に行っていました。今は滅多に行けませんが、広い海を眺めながらのんびり過ごす時間と魚が釣れた時のドキドキ感は何とも言えません。いくつか家族で船釣りにチャレンジしたいと思います。



【水野谷】

私は、六年間アメリカで日本文化（着物、茶道、生け花、民謡、習字など）を広めるボランティア活動をしていました。アメリカの皆さん、目をキラキラさせながら日本に興味を示して下さるのがとても嬉しく楽しい時間でした。

新入社員からの
ごあいさつ



居宅
水野谷 幸子

《ボランティア活動ご協力
ありがとうございます》

白河地区更生保護女性会様
十文字夏梨寿会
お花クラブ

中村 和子 様

氏家 一代 様

アコードイオンクラブ
伊藤 紗子 様

かたくり教室
長嶺 和子 様

小林 喜代子 様

いろいろの会
高住 幸一 様

寄付金

本間 正三 様
(故)本間 トメ 様

堀越 美智子 様
(故)岩本 欣子 様

高住 幸一 様
(故)高住 久男 様

吉川 雅裕 様
(故)吉川 敬子 様

吉川 真舟 様
(故)吉川 真舟 様

我妻 博 様
(故)我妻 勝良 様

阿部 重雄 様
廣報委員
深谷(祐)館
相馬 佐川 安藤
小泉 渡邊

第二十九号の広報誌の発行は、一ヶ月早くに開催された納涼祭の取材を企画することから始まりました。

例年は八月に開催しておりましたので、大変な暑さのなか、皆さん様子を撮影していたのが記憶に残っています。

今年の納涼祭のメインイベントはジャズ・バンドの演奏会。会場は大勢の方で賑わっておりました。撮影という使命を忘れ、つい演奏に聞き入ってしまうほどの素晴らしいステージをありがとうございました。

ボランティアに参加して頂いた方々をはじめ、納涼祭を盛り上げてくださった出演者の皆様に深く感謝を申し上げます。

今年度末に発行される次回三十号は、平成の年最後の広報誌となります。広報委員一同、皆様と共に新たな時代に向けて、より一層の努力をしていきたいと思っております。

編集後記